

【目的】

本県では、地域歯科医療を支える重要な担い手である歯科衛生士不足の現状を改善し、必要な人材を確保するための効果的な方策を策定する必要がある。

歯科衛生士が、やりがいを持って長く働き続けられる環境を整備するとともに、資格を持ちながら就業していない歯科衛生士の復職を支援するため、現状とニーズを正確に把握し、今後の歯科衛生士人材確保、復職支援など具体的な施策を推進するための基礎資料とする。

【実施主体】 宮崎県健康増進課

【調査対象】 県内在住の歯科衛生士資格をお持ちの方

【主な調査項目】

- ・ 基本情報（年代、居住地など）
- ・ 就業経験
- ・ 現在の就業状況と働きやすさに関する意識
- ・ 離職・転職の理由、復職に関する意向
- ・ 復職を妨げる要因
- ・ 今後の職場定着、復職支援に必要と考える取組

【調査期間】 令和8年2月10日（火）～4月30日（木）

【結果の概要】

○回答者の特性

- ・ 回答数 105 人（勤務している方が 94 人、勤務していない方が 11 人）
- ・ 30～40 代からの回答が 5 割、就業年数は 11 年以上の方が 7 割程度

○離職・転職を考えた理由 上位 3 つ（歯科衛生士として勤務している方）

<個人的な状況・キャリアに関すること> ※（）内は回答数

①出産・育児（47） ②結婚（22） ③仕事内容のレベルアップのため（21）

<職場環境・人間関係に関すること> ※（）内は回答数

①給与・待遇の面（50） ②経営者との人間関係（42） ③同僚との人間関係（32）

④勤務形態・勤務時間（28） ⑤長時間勤務・過重労働（26）

○離職・転職を考えた理由 上位 3 つ（歯科衛生士として勤務していない方）

<個人的な状況・キャリアに関すること> ※（）内は回答数

①介護・看病、歯科以外への興味、その他（3）

※その他の回答・・・給与が安い、休みが少ない、拘束時間が長い

<職場環境・人間関係に関すること> ※（）内は回答数

①勤務形態・勤務時間、給与・待遇の面（7） ③長時間勤務・過重労働、仕事内容（5）